

質問6-3 あなたが講演会・研修会などに参加したのは、どういうことからでしょうか。(あてはまるものすべて)

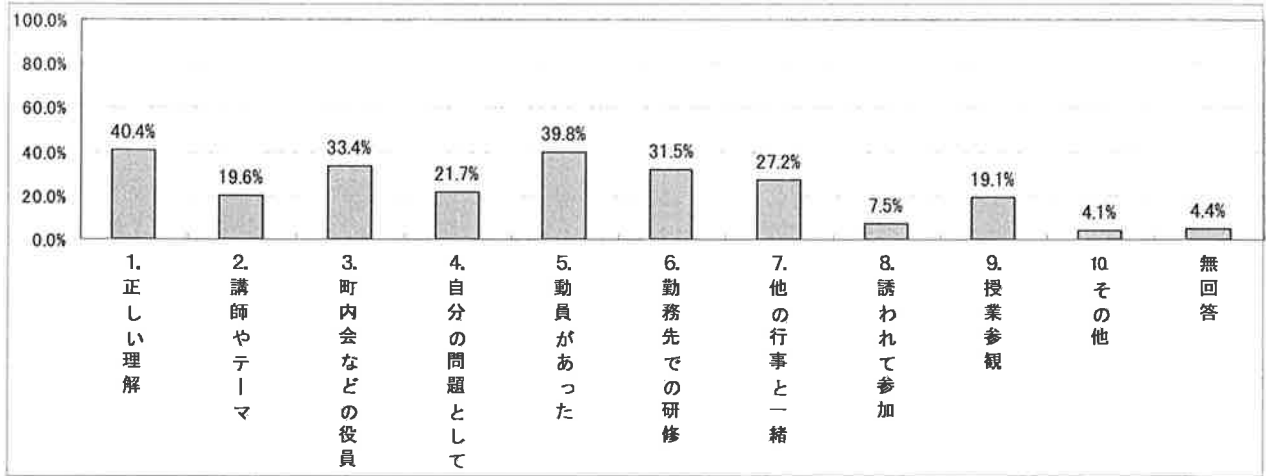
- 1 人権・同和教育について正しい理解を持ちたいと思うから。
- 2 講師やテーマに興味があったから。
- 3 町内会などの役員になっていたから。
- 4 自分の問題として、取り組みたいから。
- 5 参加割り当て(動員)があったから。
- 6 勤務先での研修として。
- 7 他の行事や研修の中に組み込まれていたから。
- 8 知人などに誘われて。
- 9 子どもの授業参観に行つて。
- 10 その他

質問6-1において、講演会・研修会に参加したことがあると答えた人(957人)に、その参加理由を複数回答(あてはまるものすべて)で問うている。この質問では町民が主体的に人権問題の解決に関わる意識や行動力についての教育・啓発の成果をみたい。

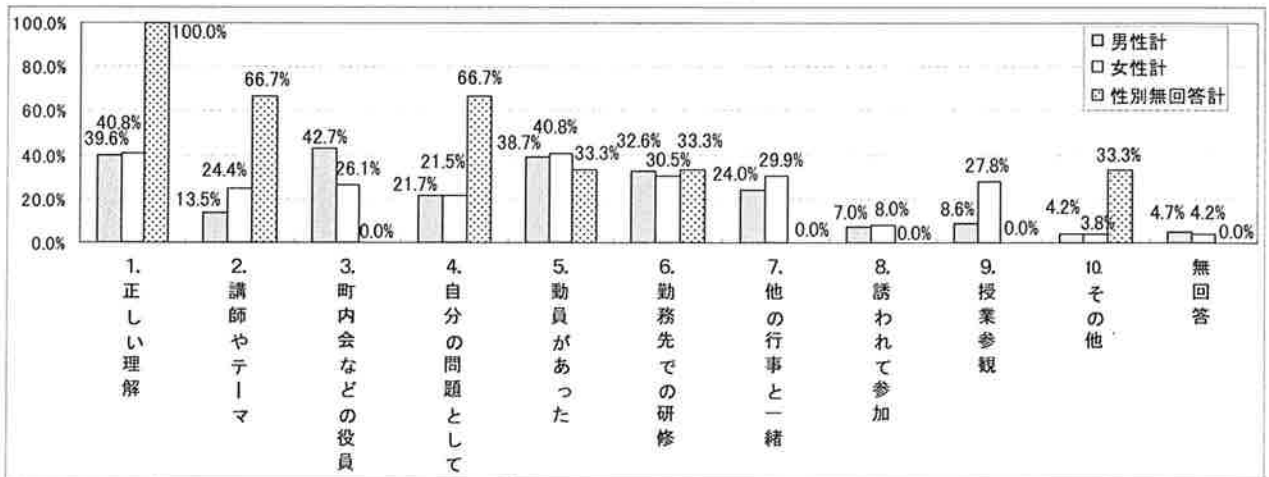
質問6-3		1. 正しい理解		2. 講師やテーマ		3. 町内会などの役員		4. 自分の問題として		5. 動員があった		6. 勤務先での研修	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
20才代	男	9	23.1%	3	7.7%	4	10.3%	4	10.3%	17	43.6%	12	30.8%
	女	9	20.5%	3	6.8%	5	11.4%	5	11.4%	8	18.2%	17	38.6%
	計	18	21.7%	6	7.2%	9	10.8%	9	10.8%	25	30.1%	29	34.9%
30才代	男	12	21.4%	5	8.9%	17	30.4%	10	17.9%	21	37.5%	22	39.3%
	女	30	36.6%	19	23.2%	15	18.3%	20	24.4%	33	40.2%	27	32.9%
	計	42	30.4%	24	17.4%	32	23.2%	30	21.7%	54	39.1%	49	35.5%
40才代	男	31	40.3%	8	10.4%	35	45.5%	19	24.7%	41	53.2%	28	36.4%
	女	48	36.9%	38	29.2%	38	29.2%	24	18.5%	55	42.3%	47	36.2%
	無回答	1	100.0%	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%
	計	80	38.5%	47	22.6%	73	35.1%	44	21.2%	96	46.2%	76	36.5%
50才代	男	38	39.6%	17	17.7%	49	51.0%	20	20.8%	35	36.5%	45	46.9%
	女	48	44.4%	40	37.0%	30	27.8%	27	25.0%	56	51.9%	46	42.6%
	計	86	42.2%	57	27.9%	79	38.7%	47	23.0%	91	44.6%	91	44.6%
60才代	男	41	47.1%	11	12.6%	48	55.2%	25	28.7%	29	33.3%	20	23.0%
	女	47	45.2%	23	22.1%	40	38.5%	27	26.0%	44	42.3%	19	18.3%
	計	88	46.1%	34	17.8%	88	46.1%	52	27.2%	73	38.2%	39	20.4%
70才以上	男	39	52.7%	14	18.9%	30	40.5%	15	20.3%	23	31.1%	13	17.6%
	女	32	56.1%	5	8.8%	9	15.8%	10	17.5%	18	31.6%	4	7.0%
	計	71	54.2%	19	14.5%	39	29.8%	25	19.1%	41	31.3%	17	13.0%
年代性別無回答		2	100.0%	1	50.0%	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%
合計	男性計	170	39.6%	58	13.5%	183	42.7%	93	21.7%	166	38.7%	140	32.6%
	女性計	214	40.8%	128	24.4%	137	26.1%	113	21.5%	214	40.8%	160	30.5%
	性別無回答計	3	100.0%	2	66.7%	0	0.0%	2	66.7%	1	33.3%	1	33.3%
	合計	387	40.4%	188	19.6%	320	33.4%	208	21.7%	381	39.8%	301	31.5%

質問6-3		7. 他の行事と一緒に		8. 誘われて参加		9. 授業参観		10. その他		無回答		回答者数
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
20才代	男	9	23.1%	2	5.1%	2	5.1%	4	10.3%	2	5.1%	39
	女	10	22.7%	2	4.5%	6	13.6%	6	13.6%	4	9.1%	44
	計	19	22.9%	4	4.8%	8	9.6%	10	12.0%	6	7.2%	83
30才代	男	8	14.3%	1	1.8%	6	10.7%	2	3.6%	4	7.1%	56
	女	21	25.6%	6	7.3%	30	36.6%	1	1.2%	3	3.7%	82
	計	29	21.0%	7	5.1%	36	26.1%	3	2.2%	7	5.1%	138
40才代	男	17	22.1%	7	9.1%	14	18.2%	1	1.3%	3	3.9%	77
	女	43	33.1%	4	3.1%	64	49.2%	4	3.1%	10	7.7%	130
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1
50才代	男	60	28.8%	11	5.3%	78	37.5%	6	2.9%	13	6.3%	208
	女	22	22.9%	5	5.2%	7	7.3%	2	2.1%	5	5.2%	96
	計	36	33.3%	8	7.4%	30	27.8%	2	1.9%	1	0.9%	108
60才代	男	58	28.4%	13	6.4%	37	18.1%	4	2.0%	6	2.9%	204
	女	25	28.7%	6	6.9%	3	3.4%	5	5.7%	4	4.6%	87
	計	36	34.6%	10	9.6%	10	9.6%	3	2.9%	2	1.9%	104
70才以上	男	61	31.9%	16	8.4%	13	6.8%	8	4.2%	6	3.1%	191
	女	22	29.7%	9	12.2%	5	6.8%	4	5.4%	2	2.7%	74
	計	11	19.3%	12	21.1%	6	10.5%	4	7.0%	2	3.5%	57
年代性別無回答	男	33	25.2%	21	16.0%	11	8.4%	8	6.1%	4	3.1%	131
	女	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2
	計	103	24.0%	30	7.0%	37	8.6%	18	4.2%	20	4.7%	429
合計	男性計	157	29.9%	42	8.0%	146	27.8%	20	3.8%	22	4.2%	525
	女性計	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	3
	合計	260	27.2%	72	7.5%	183	19.1%	39	4.1%	42	4.4%	957

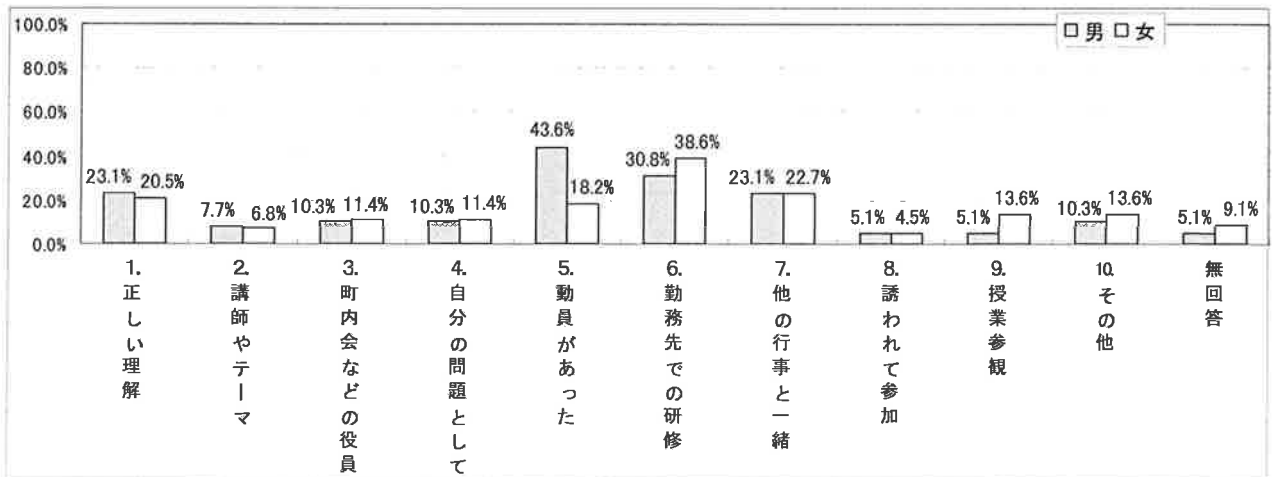
全体



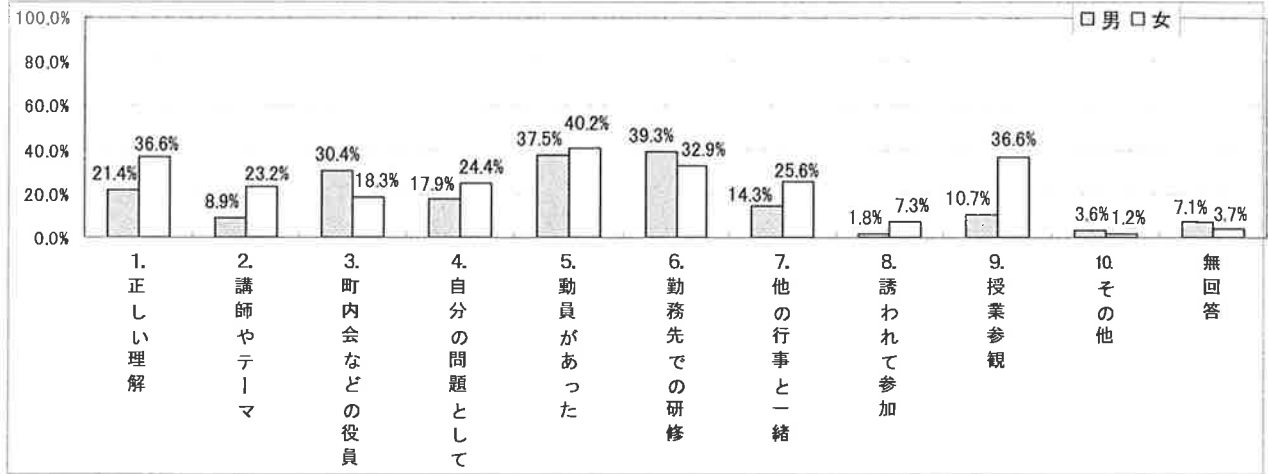
男女別全体



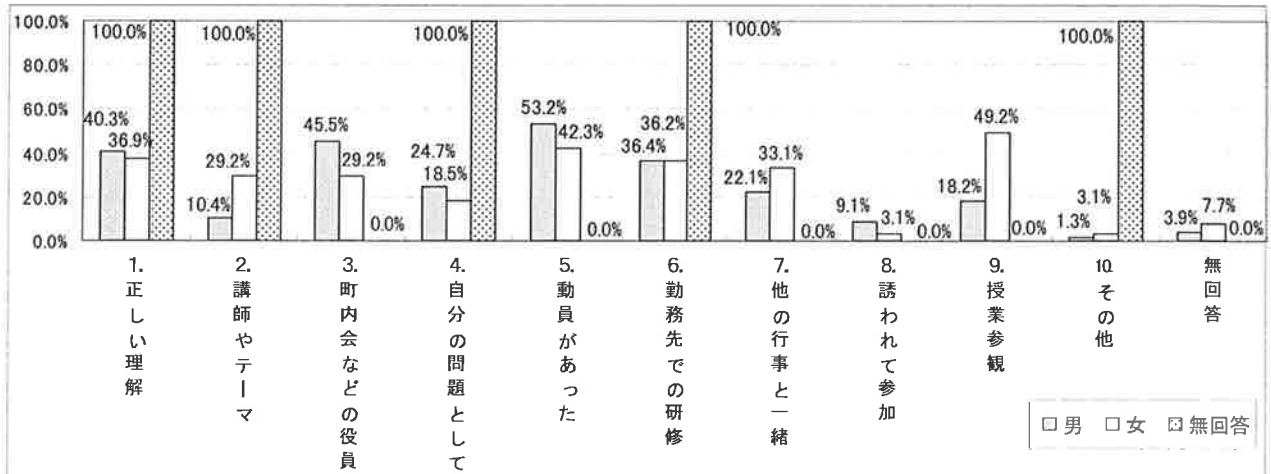
20才代



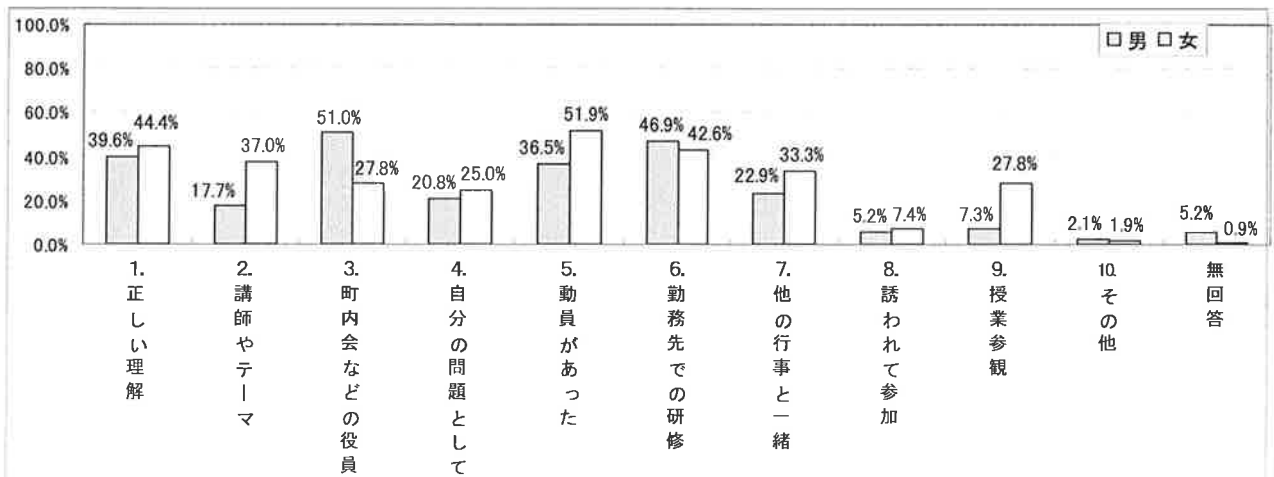
30才代



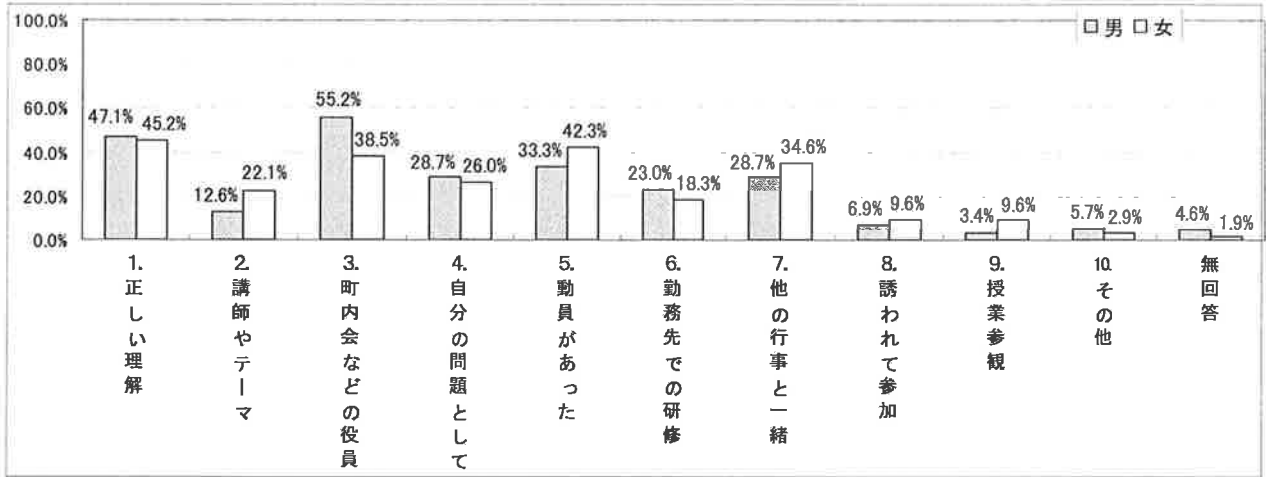
40才代



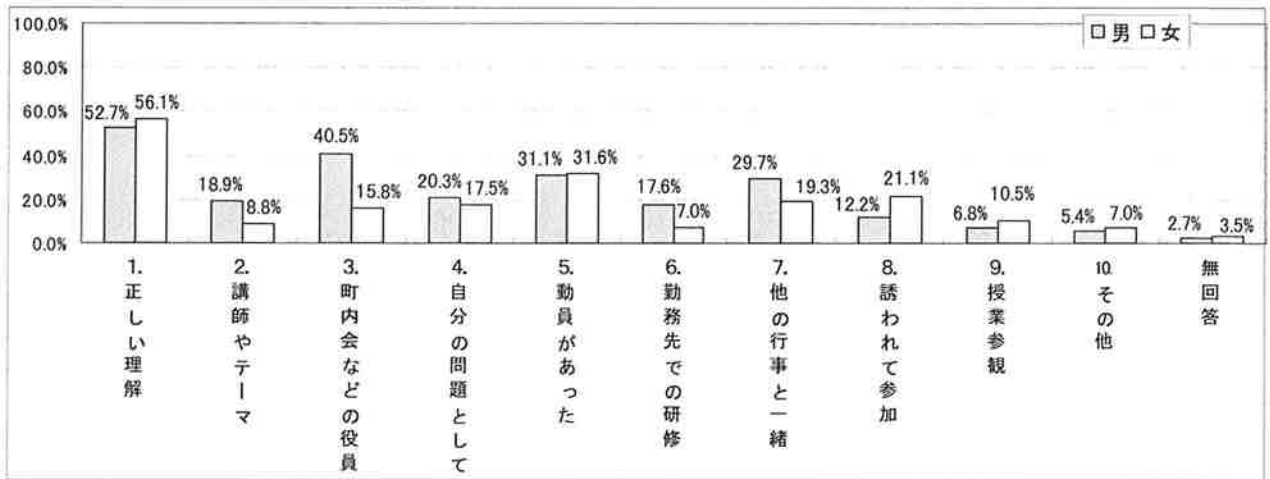
50才代



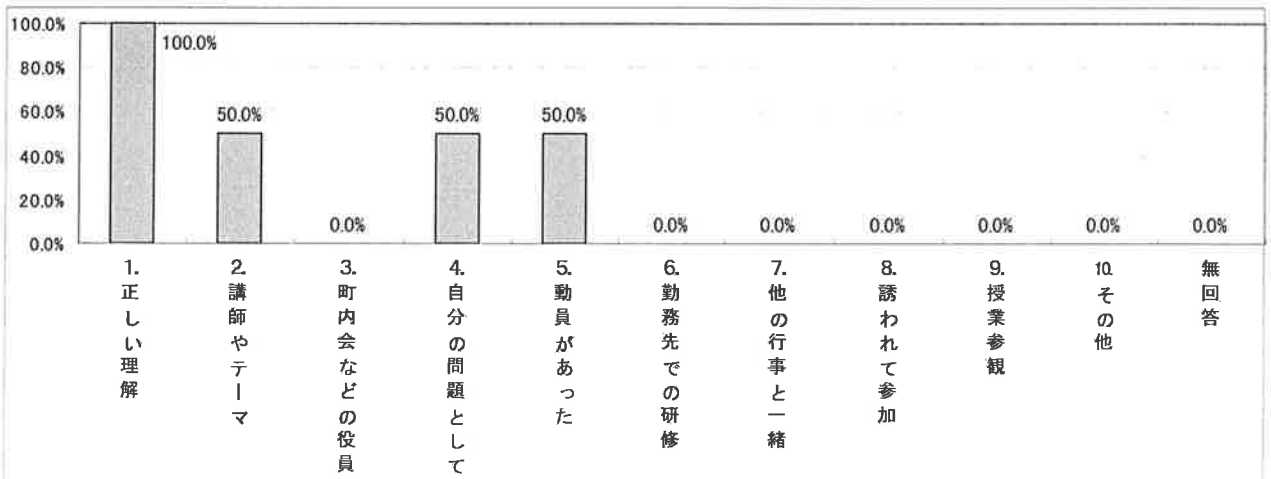
60才代



70才以上



年代性別無回答



<分析>

- 全体では、「正しい理解を持ちたい」40.4%が最も高く、「動員があった」39.8%、「町内会などの役員」33.4%、「勤務先での研修」31.5%、「他の行事に組み込まれていた」27.2%が続く。
- 年代別でみると、20才代、30才代は「動員があった」、「勤務先での研修」など、やや消極的、義務的な参加理由が高い。40才代以上は消極的、義務的な参加理由も確かに高いが、「正しい理解を持ちたい」、「自分の問題として取り組みたい」、「講師やテーマに興味があった」とする自発的、積極的な理由も高い。
- 男女別でみると、男性は「町内会などの役員」42.7%が最も高く、女性は「正しい理解を持ちたい」と「動員があった」の40.8%が最も高い。男女で大きな差があるのは「授業参観に行つて」で、女性27.8%に対し、男性8.6%で19.2ポイントの差がある。また、男性で最も高い「町内会などの役員」については、女性は26.1%で男性より16.6ポイント低い。
- 年代男女別では、次のような傾向がみられる。
 - ・ 20才代では、男性は「動員があった」が43.6%で最も高く、女性より25.4ポイント高い。女性は「勤務先での研修」が38.6%で最も高く、男性より7.8ポイント高い。ただ、男女ともどの選択肢においても50%を超えるものはなく、積極的、自発的な理由は低い。
 - ・ 30才代では、男性は「勤務先での研修」が39.3%と最も高く、次いで「動員があった」、「町内会などの役員」と、消極的、義務的な参加理由が高い。女性は「動員があった」の40.2%が最も高く、次いで「授業参観に行つて」が36.6%で、男性より25.9ポイント高い。「正しい理解を持ちたい」は15.2ポイント、「講師やテーマに興味があった」は14.3ポイント、「自分の問題として取り組みたい」は6.5ポイント、いずれも女性の方が高い。
 - ・ 40才代では、男性は「動員があった」が53.2%と年代男女中最も高く、女性より約11ポイント高い。また、「町内会などの役員」が45.5%で、女性より16.3ポイント高い。女性は「授業参観に行つて」が49.2%で年代男女中最も高く、男性より31.0ポイントも高い。
 - ・ 50才代では、男性は「町内会などの役員」が51.0%と最も高く、女性より23.2ポイント高い。次いで「勤務先での研修」が46.9%と年代男女中最も高い。女性は「動員があった」が51.9%と年代男女中最も高く、男性を15.4ポイント上回る。また、「正しい理解を持ちたい」が男性39.6%、女性44.4%でともに高いが、女性は「講師やテーマに興味があった」が37.0%で年代男女中最も高く、積極的、自発的な参加理由は女性が男性を上回っている。
 - ・ 60才代では、男性は「町内会などの役員」が55.2%で最も高く、女性より16.7ポイント高い。次いで「正しい理解を持ちたい」が47.1%、女性も45.2%で、ともに高い割合を示している。
 - ・ 70才以上は、男女とも「正しい理解を持ちたい」が最も高く、男性52.7%、女性56.1%は年代男女中最も高い。男女で大きな差が見られるのは「町内会などの役員」で、男性40.5%、女性15.8%と24.7ポイントもの差がある。女性は、「知人などに誘われて」が21.1%と、他の年代に比べ非常に高い割合を示している。

【質問6-3（研修会等への参加理由）と、質問6-1（研修会等への参加回数）との関連】

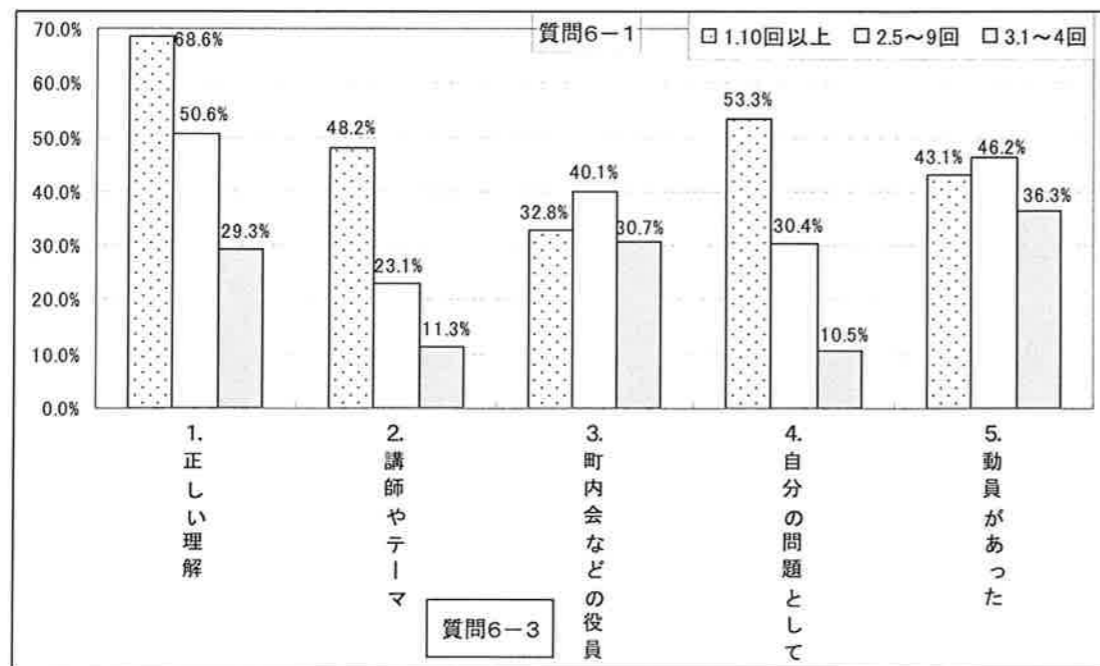
[質問6-1の内容]

あなたは過去5年間に、人権・同和教育の講演会や研修会に参加されたことがありますか。

1. 10回以上参加した。 3. 1～4回参加した。
 2. 5～9回参加した。 4. 参加したことがない。

このクロス集計では、研修会等への参加回数の違いによる参加理由の傾向をみた。

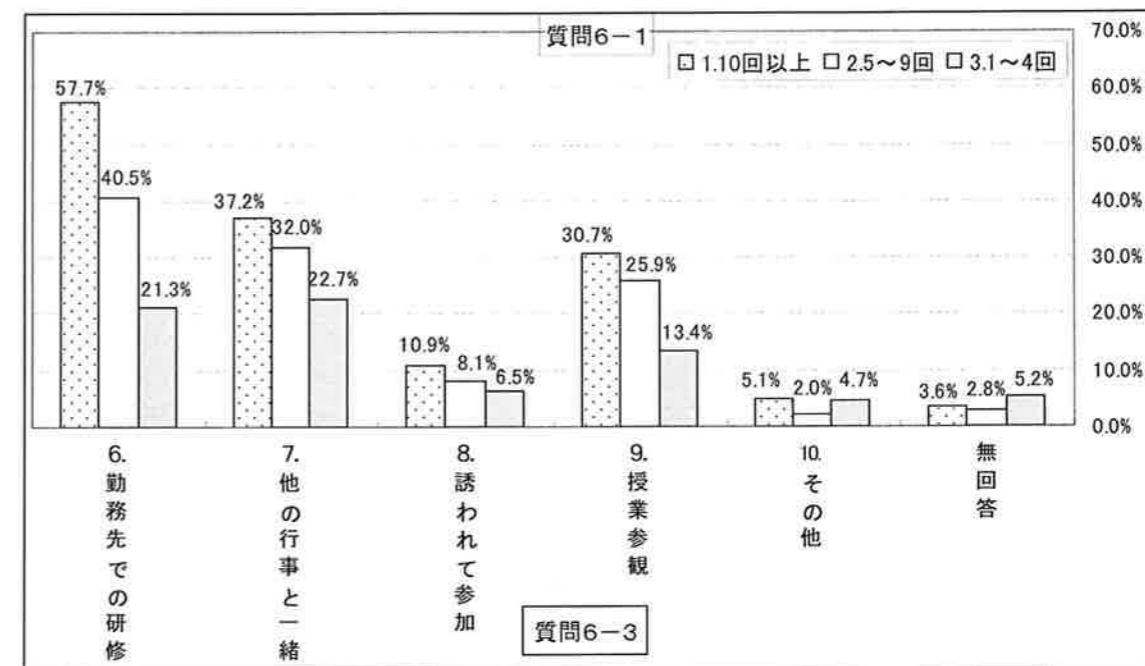
質問6-1	1 正しい理解		2 講師やテーマ		3 町内会などの役員		4 自分の問題として		5 動員があった	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1. 10回以上	94	68.6%	66	48.2%	45	32.8%	73	53.3%	59	43.1%
2. 5～9回	125	50.6%	57	23.1%	99	40.1%	75	30.4%	114	46.2%
3. 1～4回	168	29.3%	65	11.3%	176	30.7%	60	10.5%	208	36.3%



<分析>

- 「正しい理解を持ちたい」、「自分の問題として取り組みたい」、「講師やテーマに興味があった」とする積極的、自発的な参加理由及び「勤務先での研修」、「授業参観に行つて」など、やや義務的な参加理由と参加回数とは相関が見られる。「1～4回」の参加と「10回以上」の参加では約2～5倍の開きがある。一方、「動員があった」、「町内会などの役員」とする消極的な参加理由は、参加回数との相関は認められない。

質問6-1	6 勤務先での研修		7 他の行事と一緒に		8 誘われて参加		9 授業参観		10 その他		無回答		回答者数
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
1. 10回以上	79	57.7%	51	37.2%	15	10.9%	42	30.7%	7	5.1%	5	3.6%	137
2. 5～9回	100	40.5%	79	32.0%	20	8.1%	64	25.9%	5	2.0%	7	2.8%	247
3. 1～4回	122	21.3%	130	22.7%	37	6.5%	77	13.4%	27	4.7%	30	5.2%	573
													957



【考察】

- ◎ 全回答項目数（複数回答）の中で、自発的、消極的、義務的な参加理由の回答が占める割合をみると、「正しい理解を持ちたい」をはじめ、「自分の問題として取り組みたい」、「講師やテーマに興味があった」とする自発的な参加理由は約1/3、「動員があった」、「町内会などの役員」とする消極的な参加理由も約1/3、「勤務先での研修」、「他の行事に組み込まれていた」、「授業参観に行つて」とする義務的な参加理由も約1/3である。

消極的な参加理由は、県の「同和教育についての県民意識調査」〔平成17年（2005年）実施〕の結果を大幅に上回っており、特に、「動員があった」が高いことから、今後の研修等の提供のあり方について改善が求められる。それ以上に、町民のニーズを踏まえ、講演会や研修会の内容を深めることが必要である。また、職場や学校等での研修の機会、啓発活動も重要である。